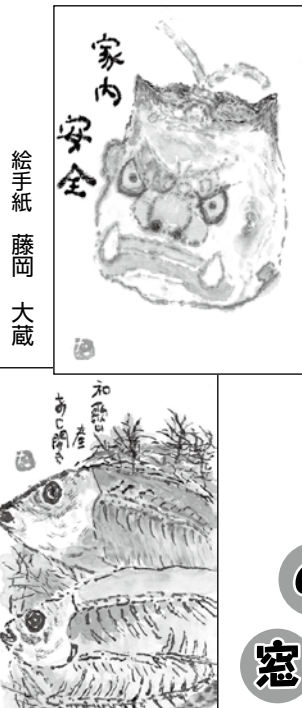




絵手紙 藤岡 大蔵



編集者の窓

今回「絵手紙」掲載者の藤岡大蔵さんは、15年前に脳出血で倒れ、生死の境をさまよった、2年間の闘病生活を余儀なくされ、右半身に後遺症が残った。残り動けなくなりました。そこで、奥様の友人に指導を受け、リハビリのために始めたのが絵手紙でした。

月に一度、親しい仲間4人が集まり、その合間にも描き続け、30枚以上も作品ができる月もあるとのこと。

昨年6月、自宅の庭で作品展が行われ、季節ごとの作品がたくさん展示されていました。その中でも、鯛の開きの絵の細かさにびっくり！庭には、お元気な時に作られた木のテーブルや大きな木の株をくり抜いた椅子が置かれていて、その見事な出来栄えといい、絵手紙に取り組み姿勢といい、逆境にも打ち勝つ意欲的な姿に感動しました。

草野 恵子

ボランティアセンターだより

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennanshi-vc@sennan-shakyo.or.jp

2021.2
きさ らぎ

如月 102号

支えられたり
支えたり

郷土かるたフェス in SENNAN

『せんなんかるた』をご存知ですか。48枚の絵札には泉南市の名所旧跡のほか、花や特産物などが描かれ、裏面には泉南市のマスコットキャラクターと一緒にグー・チョキ・パーの絵があり、じゃんけんゲームなどが楽しめるようになっています。読み札の文章は、全泉南市立小学校の児童たちの協力によって作られ、見どころや説明文が記されています。

その『せんなんかるた』を多くの人に知ってもらおうとイベントが開催されます。

開催日 4月4日(日) 9:30~16:00 (予定) 雨天決行

主会場 埋蔵文化財センター・海会寺跡広場

主催 郷土かるたフェス実行委員会

かるたで
まちおこし

新型コロナ
ウイルス感染拡大
により **未定** と
なりました

郷土かるた シンポジウム

基調講演
パネルディスカッション

かるたの里巡り

(ガイド 泉南案内人の会)

コース1 和泉砂川駅⇒埋蔵文化財センター
コース2 新家駅⇒埋蔵文化財センター

ジャンボかるた大会

郷土かるた展

(埋蔵文化財センターの企画展)

紙芝居で知る 郷土の歴史物語

お花見音楽祭

問合せ せんなんかるた普及実行委員会 TEL 090-4273-8181 (森広)

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合があります

泉南案内人の会

私たちは、市内の史跡・名所などの観光スポットを案内している団体です。現在会員数は20名。英語に対応できる会員もいます。「歴史に興味がある」「ハイキング、まち歩きが好き」そんな人たちの集まりです。

どなたでもできる観光ボランティア活動をしませんか！
市内外問わずご参加ください。

月例会 樽井公民館 毎月第1水曜日 13時~15時

年会費 2000円

問合せ TEL 090-3273-4028 (林)

NPO法人 泉南の里山を大切にする会

私たちは、里山の自然を生かしながら適度な手入れをし、豊かな自然を取り戻す活動をしています。「明るく・楽しく・無理せずに！」がモットーです。

参加することで、いろいろと発見があり、地域の自然を考えるきっかけになるはずです。あなたも「せんなんの森里山保全活動」に参加してみませんか！

活動日時 毎月原則2回(土曜日又は日曜日) 9時30分~15時

活動場所 泉南市立青少年の森

年会費 1000円

問合せ TEL 080-5362-5505 (大井)

ボランティア 募集！

活動報告

駅前清掃「さわやか」

昨年11月28・30日に花苗の植付けをしました。初めての試みで募集した「その日その時間だけのボランティア」では思いのほか多くの参加者があり、みんなで楽しくピオラやパンジーを植えました。

きれいに咲き揃ってきましたので、駅を通りかかった折には足をとめて、かわいい花たちをご覧ください。



和泉砂川駅



新家駅



樽井駅

お知らせ ペットボトル キャップ 回収終了

泉南市ボランティアセンターで12年間、皆さまにご協力をいただいていたペットボトルキャップ回収が、公益社団法人泉南青年会議所の世界の子どもにワクチンを届ける事業終了に伴い、昨年12月末日で終了となりました。

近年、世界中でプラスチック製品を減らす活動に関心が高まっている中で、別の素材で作るという考え方もあることと共に、キャップの回収が新型コロナウイルス感染拡大に繋がる可能性もある、と考えられたうえの判断だそうです。

今後、キャップは泉南市のプラスチックごみ回収時に出してください。

長い間のご協力、ありがとうございました。